

平成27年度 府中市市民提案型協働事業 選定結果

	事業名	団体名	市担当課	事業概要	選定結果	採択にあたっての付帯条件 または不採択の理由等
1	府中市に冒険遊び場を ～子どもが遊びこめる環 境づくりとそれを支える市 民の育成～	NPO法人野外遊 び喜び総合研究所	児童青少年課	子どもが自由に遊べる冒険遊び場 や、遊びの重要性を伝える講演 会、スタッフ向けの救急講習を実 施する。	採択	【付帯条件】 リスク管理について、担当課と十分に協議を行った上で、事業を実施 すること。 事業費を精査すること。特に、報償費については、市内のリソースを活 用するなど、より一層協働の視点を取り入れるよう工夫すること。 【主な意見】 事業を継続・発展させていくためには、多くの市民の理解と協力を得な がら、協働を意識して実施していく必要がある。 レクリーダーに対して協力を依頼するなど、従来の後援事業と比べ、 広がりが期待できる。 雨天の際の対応や、怪我や事故が発生した際の対応や責任の所在な どを明確にした上で、事業を実施していただきたい。
2	命の讃歌コンサート	命の讃歌コンサ ートの会	政策課	精神障害者や震災被災者、子供、 老人など、多様な団体が同じ1つ のステージにたち、命の大切さ、 生きる事の素晴らしさを歌とともに 訴えるコンサートを実施する。	採択	【付帯条件】 事業費を精査すること。特に、報償費を縮小できるよう工夫をするこ と。 【主な意見】 公共性が高いテーマである。 事業を自立して継続・発展させていくためには、事業費の中で大半を占 めている報償費を見直し、予算の適当性の向上を図る必要がある。 協働の必要性について、さらに意識しながら実施していただきたい。 対象者の中には障害のある方もいるため、会場設定や当日の運営の 際にご留意いただきたい。
3	文化村水育プロジェクト	府中文化村	環境政策課	子どもに水の大切さを伝えることを 目的に、サントリー白州工場の見 学や白州の森探検ツアーを実施 する。	不採択	【不採択の理由】 団体・企業・市の三者での協働事業という着眼点や、児童に自然環境 学習を行う機会を提供するという企画は高く評価できる。しかし、対象人 数が30人と限られていることから、公益性や波及効果が明らかになっ ていない点や、事前協議において調整を要していた市担当課との役割 分担等に課題が残った点など、事業の妥当性や協働の必要性が不十 分であることから、今年度の協働事業としての実施は見送る。 【主な意見】 市内の小学校3～6年生が9,000人近くいる中で、定員の設定が30 人のため、公共性が不十分と考える。 市の役割や協働の必要性を明確にするなど、内容を精査することがで きれば、発展性はあると考えられるため、改めてチャレンジしていただ きたい。

4	子育て応援イベント「ハッピー子育て～わが子のチカラを信じよう～」	ポルトボヌール	子育て支援課	子育て中の親の悩みを共有・解決するためのワークショップと講演会を実施する。	採択	<p>【付帯条件】 事業費を精査すること。特に、報償費や使用料については、事業の継続・発展に向けて、予算の適当性の向上を図ることができるよう、担当課と協議の上、工夫をすること。</p> <p>【主な意見】 課題をしっかりと理解できており、将来性もある。 子育て中の親を対象としていることから、類似事業を行っている担当課とより一層連携することにより、効果的な事業にしていきたい。</p>
5	大型総合イベント「超高齢社会の街づくりフェスタ2015」	NPO法人臨床研修支援協議会	高齢者支援課	市民や医療従事者など、多様な人同士のつながりを目的とした学習会や交流会の実施や、ミニ講演会やアトラクションを体験できるフェスタを実施する。	採択	<p>【主な意見】 公共性が非常に高いテーマである。 関連団体と連携することにより、単独での実施に比べ、継続的な事業展開が期待できるとともに、さらなる相乗効果が生まれると考える。 今回の事業をきっかけとし、協働に係るノウハウを磨き、今後の活動の更なる発展に生かしていただきたい。</p>
6	発達障害児に係る教育関係者の現状改善	NPO法人シャイニングスター	指導室 児童青少年課	発達障害児の増加に伴い教育の現場で苦慮している課題等を聞き取り、市と連携しながら情報共有をして、報告書にまとめる。	不採択	<p>【不採択の理由】 事業の妥当性及び発展性が不十分であり、政策提案に留まることから、今年度の協働事業としての実施は見送る。</p> <p>【主な意見】 公共性が非常に高いテーマである。 個人情報またはこれに類するセンシティブな情報の取扱いについて、管理・使用方法が不明確である。 対象事業は単年度事業のため、具体的な事業成果が見える必要があるが、年度内の成果が報告書の作成、情報共有に留まることから、事業の効果が不十分である。 極めて難しいテーマであるが、事業成果を明確にするとともに、事業計画をより具体化するなどして、ぜひ改めてチャレンジしていただきたい。</p>